

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-1 魅力と個性あふれる都市をつくります

計画事業名	蒲田駅周辺のまちづくり						
主な取組内容	世界への玄関口となる羽田空港を活用し、大田区を中心拠点にふさわしい魅力と活力あるまち蒲田をめざします。そのため、交通結節機能*を充実し、都市機能を更新するとともに、まちの安全や景観の向上に取り組みます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
将来構想の調整・策定		→					
蒲田駅周辺地区ランドデザインの推進			→	→	→	→	検証
旧逆川の整備		→	→	→	→	→	完了

所管部局	まちづくり推進部、都市基盤整備部	
平成 24 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【蒲田駅周辺地区ランドデザインの推進】</p> <p>○蒲田都市づくり推進会議を開催（4 回）して、駅周辺整備における考え方を、従来の「蒲田駅周辺整備計画」から「蒲田駅周辺再編プロジェクト」へ再構築し、必要な施設整備と実現化に向けた手順、整備条件などを「初動期整備計画」「中長期整備指針」に分類し、「蒲田駅周辺再編プロジェクト素案」のまとめを進めました。また、蒲田都市づくり推進会議の開催状況について大田区 Web サイトで公表しました。</p> <p>○下部組織の駅開発検討部会の開催（2 回）や関係事業者との個別協議により、蒲田駅周辺再編プロジェクト素案作成に向けて意見交換を行い、合意形成を図りました。</p> <p>○蒲田駅周辺再編プロジェクトで示す初動期整備計画、中・長期整備指針を検討するため、交通量調査等を実施し、整備の方向性の具体化を図りました。また、バーチャル・リアリティ（コンピュータで作成した模型の 3 次元的映像）を作成し、各検討会や地権者、地元団体説明で活用しました。</p>	4	
（次ページに続く）		

<p>(前ページからの続き)</p> <p>○平成 23 年度にまとめた「蒲田駅周辺整備計画(たたき台)」に関して、自治会・町会、商店会、まちづくり協議会等、地元6団体への説明を行いました。蒲田のまちづくり座談会を開催(参加者 40 人)し、駅周辺整備について地元の合意形成と意見反映を図りました。また、東口駅前広場と地下自転車駐車場の具体的整備計画について、東口のまちづくり協議会、町会、商店会を対象に意見交換会を開催(参加者 19 人)しました。</p> <p>○地権者勉強会を開催(5回)し、街区建替えに関する情報提供と組織化に向けたきっかけづくりを行いました。勉強会の中で、柏市の再開発事例の視察を行い、再開発イメージの共有を図りました。</p>		
<p>【旧逆川の整備】</p> <p>○地元と協議を重ね、道路整備に関する細部のデザイン(街路灯、車止め等)を決定しました。</p> <p>○電線共同溝整備工事(延長 210m)を行いました。</p>	4	
<p>決算額</p>	171,901,925 円	
<p>次年度以降の主な取り組み</p>		
<p>○蒲田駅周辺再編プロジェクト素案の成案化に向け、パブリックコメントを実施し、蒲田都市づくり推進会議や関係機関との調整を行います。</p> <p>○駅周辺街区の整備については、地権者による組織づくりと街区整備の意向のある地権者の支援等を行います。</p> <p>○旧逆川の整備については、道路整備を施工します(延長 210m)。</p>		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-1 魅力と個性あふれる都市をつくります

計画事業名		大森駅周辺のまちづくり						
主な取組内容		歴史と文化と浜風のかおる、にぎわいと交流のあふれるまち大森をめざした駅周辺のまちづくりを推進します。(仮称)大森北一丁目開発により、区有地を有効に活用し、大森のまちのにぎわいを創出する拠点として複合施設を整備します。						
(平成/年度)		21	22	23	24	25	26~30	
基本調査による将来構想(案)の検討・策定		→						
将来構想の調整・策定			→					
大森駅周辺地区グランドデザインの推進				→	→	→	検証	
(仮称) 大森北一丁目開発	民間事業者による複合施設の建設	→	→					
	民間事業者による複合施設の管理運営			→	→	→	継続	

所管部局	まちづくり推進部	
平成 24 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【大森駅周辺地区グランドデザインの推進】</p> <p>○地権者組織発足に向けた準備会（5 回）の開催を支援し、地権者組織「大森八景坂地区まちづくり協議会」が発足しました。</p> <p>○「大森八景坂地区まちづくり協議会」による検討委員会（7 回）や 100 人会議（2 回）の開催を支援し、まちづくりの目標・方向性（たたき台）の検討を行いました。</p> <p>○「大森駅西側駅周辺の都市基盤施設の整備に向けた大森駅中心地区整備検討部会」（3 回）及び「大森駅西側駅周辺都市基盤整備方針作業分科会」（6 回）を開催し、地権者や地域住民等とともに検討する「まちづくり計画案」に反映する「公共施設整備の考え方」を整理しました。</p> <p>○地域住民の声をお聞きするため、関連する自治会・町会及び商店街を対象に「大森駅西側駅周辺のまちづくり地域懇談会」を開催（2 回）しました。</p> <p>○アクションプランに関連する区事業全体の取組状況及び成果を確認し、大田区 Web サイトで公表しました。</p> <p>○平成 23 年度に実施した「戦略的エリアマネジメントの方向性調査」について、区内外の団体・事業者等へ報告し、連携・協働等の現況について情報収集し、コーディネート手法等について検討しました。</p> <p style="text-align: right;">（次ページに続く）</p>	4	

<p>(前ページからの続き)</p> <p>○大田観光協会が製作した昭和初期の山王を再現したジオラマを入新井図書館に展示し、まちづくりの基本方針の一つである「大森貝塚や馬込文士村など、魅力ある歴史・文化を継承・活用し、地域のブランド価値を一層高めます」の理解・浸透を図りました。</p>		
<p>【(仮称)大森北一丁目開発－民間事業者による複合施設の管理運営】</p> <p>○大森複合施設ビルのにぎわい指標としてテナントのレジ通過数を設定し、区施設及び民間施設の利用者数等とあわせて運営状況を把握しました。</p> <p>○関係部局や事業者による検討組織「L u z大森(大森複合施設ビル)魅力向上部会」を開催(4回)し、問題点の整理や解決策を検討したうえで、可能な解決策を実行しました。</p>	4	
<p>決算額</p>	<p>19,244,033 円</p>	
<p>次年度以降の主な取り組み</p>		
<p>○「大森八景坂地区まちづくり協議会」によるまちづくり計画案の検討等を支援します。</p> <p>○地元及び関係機関と協議のうえ、大森駅西側駅周辺の都市基盤施設整備計画を検討します。</p> <p>○「大森駅西側駅周辺のまちづくり地域懇談会」等の開催により、大森駅西側駅周辺のまちづくりについて意見交換・合意形成を行います。</p> <p>○アクションプランに関連する区事業全体の取組状況及び成果を大田区 Web サイトで公表します。</p> <p>○戦略的エリアマネジメントの実現に向け、地域住民及び事業者の取り組みを把握するとともに、事業者との連携事業の可能性を探ります。</p> <p>○大森複合施設ビルにおける区施設及び民間施設の運営状況を把握します。</p> <p>○「L u z大森魅力向上部会」を定期的を開催し、問題点の整理や解決策を検討したうえで、可能な解決策を実行します。</p>		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市^{まち}

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-1 魅力と個性あふれる都市をつくります

計画事業名	身近な地域の魅力づくり						
主な取組内容	私鉄主要駅周辺において、歴史・文化・産業などの地域の特性を活かした魅力と活力がみなぎるまちを推進するため、安全で快適な歩行空間を確保し、地域活性の拠点となる整備を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
地域まちづくり拠点整備		→					継続

所管部局	都市基盤整備部	
平成 24 年度の取組み内容		進捗状況
【地域まちづくり拠点整備】 ○大田区画街路 1 号線事業に伴う目黒線蓋かけ工事を施行しました（平成 25 年度竣工予定）。		4
決算額	2,218,634,088 円	
次年度以降の主な取組み		
○平成 26 年 3 月の完了をめざし、鉄道部分の蓋かけ工事を継続して実施します。		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-1 魅力と個性あふれる都市をつくります

計画事業名	京浜急行線連続立体交差事業における駅周辺のまちづくり						
主な取組内容	京浜急行線連続立体交差事業を契機に、京急蒲田駅西口、糀谷駅前及び雑色駅の周辺地区において、駅前環境や住・商業環境の整備、防災機能の向上等を図るため、市街地再開発事業*等による整備を目標とする、関係権利者組織の活動を支援します。あわせて、駅前拠点の整備における公共サービスの提供について、方針や可能性などの検討を行います。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
再開発等事業化支援(3地区)		→					完了 (26年度)
公共サービス提供に関する検討		→					

所管部局	連続立体事業本部	
平成 24 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【再開発等事業化支援（3地区）】</p> <p>◎京急蒲田駅西口周辺地区</p> <p>○駅前再開発組合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会（1回）、臨時総会（3回）、理事会（21回）、合意形成状況報告会（16回）等の実施を支援しました。 ・公共施設詳細設計業務、補償費支払い等について、補助金及び負担金を交付するとともに、権利変換計画認可に向けた協議・調整の実施を支援しました。 <p>○京急蒲田西口地区まちづくり研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会（1回）、役員・運営委員会（11回）、仮囲い活用検討委員会（5回）、仮囲い検討ワークショップ（1回、参加者10人）、広報紙発行（10回）の実施を支援しました。 ・団体活動支援のため団体活動費を助成しました。 <p>○蒲田4-1地区都心共同住宅供給事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同施設整備費助成金を交付しました。 <p>○センターエリア協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会（1回）、役員会（10回）、広報紙発行（2回）の実施を支援しました。 ・団体活動支援のため団体活動費を助成しました。 <p style="text-align: right;">（次ページに続く）</p>	4	

<p>(前ページからの続き)</p> <p>◎糀谷駅周辺地区</p> <p>○駅前再開発準備組合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会（2回）、理事会（7回）の開催を支援しました。 ・平成24年7月11日、駅前再開発組合設立について、東京都から組合設立が認可されました。 <p>○駅前再開発組合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会（1回）、臨時総会（3回）、理事会（16回）、権利者説明会（4回、参加者74人）、ワークショップ（2回、参加者23人）の開催を支援しました。 ・再開発組合が実施した地盤調査、施設建築物実施設計、公共施設実施設計、権利変換計画作成業務について、負担金及び補助金を交付するとともに、権利変換計画作成に向けた協議・調整の実施をしました。 <p>◎雑色駅周辺地区</p> <p>○雑色まちづくり研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会（1回）、運営委員会（10回）、事業実施検討部会（2回）、活動報告の集いの開催を支援しました。 ・団体活動支援のため、団体活動費を助成しました。 ・雑色まちづくり研究会広報紙（「ぞうしき通信」4回）（「事業実施検討部会報告」3回）の発行を支援しました。 ・区のPR紙「まちづくりニュース」（1回）を発行しました。 	
決算額	4,719,375,476円
次年度以降の主な取り組み	
<p>○京急蒲田西口周辺地区については、市街地再開発事業にて、解体及び本体工事に係る支援（工事への指導監督、補助金交付等）を行います。また、まちづくり団体への活動支援を行います。</p> <p>○糀谷駅周辺地区については、権利変換計画認可に向けた支援（補助金交付等）を行います。</p> <p>○雑色駅周辺地区については、引き続きまちづくり団体活動を支援し、地区計画導入に向けた協議及び事業化区域の選定検討を行います。</p>	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-2 快適な交通ネットワークをつくります

計画事業名		京浜急行線連続立体交差事業の推進						
主な取組内容		京浜急行線の連続立体交差化により28箇所の踏切を除去し、交通渋滞の解消や、鉄道による地域分断の改善により、まちの活性化や魅力あるまちづくりを推進します。また、本線と空港線が分岐する京急蒲田駅の総合的な改善も行います。あわせて、高架下空間の利用、交差道路の整備についても具体化を進めます。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
鉄道高架化	用地取得		→					
	工事		→					
交差道路・側道整備工事					→			完了 (26年度)

所管部局	連続立体事業本部	
平成 24 年度の取り組み内容		進捗状況
【鉄道高架化－工事】 ○下り線の高架切替により事業区間全線が高架となり、平成 22 年度に環状 8 号線付近下り線仮高架化により除去された 4 か所を含め、28 か所の踏切が除去されました。		4
【交差道路・側道整備工事】 ○関連側道（本線付属街路第 4 号線・5 号線）の下水道工事を完了しました。		4
決算額	1,085,309,749 円	
次年度以降の主な取り組み		
○地中梁工事を行います。 ○平和島方、六郷土手方、大鳥居方の取付部の工事を行います。 ○関連側道工事、交差道路工事を行います。		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-2 快適な交通ネットワークをつくります

計画事業名	新空港線「蒲蒲線」* の整備促進						
主な取組内容	区民の利便性向上と国際化する羽田空港へのアクセス機能*を高めるため、JR・東急蒲田駅と京急蒲田駅を結ぶ、新空港線「蒲蒲線」の整備を促進していきます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
整備事業化に向けた検討							継続
関係機関との協議、調整							継続
区民協議会と連携した促進活動							継続

所管部局	まちづくり推進部	
平成 24 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【整備事業化に向けた検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成 22 年国勢調査結果及び航空旅客動態調査等の結果を踏まえ、現時点で反映可能な最新データに更新しました。 ○京急蒲田駅付近の連続立体交差化後の新ダイヤ等、関連路線のサービスレベル変化を踏まえた検討を行いました。 ○検討の結果、現在想定している条件において、一定の事業性があることを確認しました。 	4	
<p>【関係機関との協議、調整】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新空港線「蒲蒲線」調査に伴う勉強会（4 回、区、国、都、鉄道事業者等で構成）を開催し、整備に向けた調査を行った結果、事業性があることが確認されました。 ○「新空港線整備資金積立基金」を新設し、新空港線「蒲蒲線」の早期実現に向け、整備の準備資金として、補正予算にて 5 億円の積立を行いました。 	4	

<p>【区民協議会と連携した促進活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成 23 年度までの調査とりまとめを公表しました。 ○調査とりまとめ及び、調査結果を踏まえた新たなパンフレットを作成し、区民等に配布周知するとともに、ホームページに掲載しました。 ○新空港線「蒲蒲線」整備促進区民協議会を開催（参加者 268 人）しました。「日本の国際戦略拠点羽田空港の未来と新空港線「蒲蒲線」の役割」というテーマで、東京工業大学大学院総合理工学研究科、屋井鉄雄教授に講演いただき、区民に整備促進への理解を広げました。 	4	
決算額	510,425,909 円	
次年度以降の主な取り組み		
<ul style="list-style-type: none"> ○新空港線の整備促進に向け、本年度調査のとりまとめを基に、パンフレットや区ホームページ、区報などにより、広く周知を図っていきます。 ○本年度検討の結果を踏まえ、国や東京都、鉄道事業者など、関係機関へ更に積極的に働きかけを行っていきます。 ○事業実行性向上のため、羽田空港の機能拡充や国際化の進展など、将来の需要予測の見直し等の動向を把握、検討していきます。 		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市^{まち}

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-2 快適な交通ネットワークをつくります

計画事業名		都市計画道路の整備						
主な取組内容		主要幹線道路間の交通円滑化を図り、安全で快適な歩行者空間を確保するため、街路整備を推進します。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
区画街路第1号線	用地取得・整備							継続
補助44号線その2	用地取得・整備・測量							残路線 事業着手
補助43号線	用地取得・測量							残路線 事業着手

所管部局	都市基盤整備部	
平成 24 年度の取組み内容	進捗状況	
【区画街路第1号線ー用地取得・整備】 ○土地収用法裁決申請を行い、1画地 33.11 m ² を取得しました。	4	
【補助44号線その2ー用地取得・整備・測量】 ○契約買収（1画地、10.48 m ² ）を行いました。 ○収用手续（1画地、115.52 m ² ）を行いました。 ○代行買収した土地開発公社から用地（3画地、33.56 m ² ）の買戻しを行いました。 ○電線共同溝工事（延長 300m）を施工しました。	4	

【補助 43 号線－用地取得・測量】		4
○契約買収（10 画地、394.31 m ² ）を行いました。 ○復元測量、管理舗装を行いました（管理舗装面積 173 m ² ）。		
決算額	303,948,834 円*	
次年度以降の主な取り組み		
○区画街路第 1 号線、補助 44 号線については、引続き土地収用法の裁決申請も念頭に置き用地取得に取り組みます。 ○補助 43 号線については、東京都道路整備保全公社の協力を得ながら用地取得に取り組みます。 ○補助 38 号線については、平成 24 年度に事業認可を取得したので鋭意、用地取得に取り組みます。 ○区画街路第 1 号線（その 2 地区）については、電線共同溝工事（延長 100m）を施行します。 ○補助 44 号線については、引き続き、電線共同溝工事を施行します。 ○道路用地（取得された土地）について、復元測量、管理舗装を行います。		

*区画街路第 1 号線については、別の未来プラン事業である「身近な地域の魅力づくり」（P.71）と同様の内容です。したがって、決算額の重複を避けるため当該経費は「身近な地域の魅力づくり」のみに計上しています。

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-2 快適な交通ネットワークをつくります

計画事業名	コミュニティバス*の導入検討、運行支援						
主な取組内容	区内交通不便地域を解消するため、地域が支えるコミュニティバスの導入を検討するとともに、運行を支援します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
試行運行・運行検証		1地区					
運行支援							検証
導入検証結果を踏まえて運行計画の策定							検証

所管部局	都市基盤整備部	
平成 24 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【運行支援】</p> <p>○運行事業者への運行事業補助金の交付、利用促進策の検討、利用促進チラシの配布、イベントによるバス利用PR等の運行支援を行いました。</p> <p>○平成 24 年度の乗車人員は約 44,000 人（前年度比約 5,400 人増）、1 便あたりの平均乗車人員は 6.5 人（前年度比 0.2 人減）でした。</p>	4	

<p>【導入検証結果を踏まえて運行計画の策定】</p> <p>○運行検証結果に基づく課題（利用促進、サービス水準の改善、事業採算性の向上）を検討するために、地元関係者（住民、福祉関係者、運行事業者）による「大田区コミュニティバス等検討会議・作業部会」を開催（1回、参加者延べ20人）しました。</p> <p>＜利用促進の検討＞</p> <p>○利用促進策の検討を深め、具現化していくため、作業部会有志の会を開催（2回、参加者延べ23人）しました。</p> <p>○矢口地域以外からの利用を促進するため、利用促進チラシを特別出張所、図書館、区民センター、文化センター、郷土博物館、大田観光協会等に配布しました。</p> <p>○バス利用を促すため、車内広告枠を暫定活用し、多摩川清掃工場の環境フェア等地元行事、平和の祭典や大田商い・観光展等区行事のPRを行いました。</p> <p>○郷土博物館と連携し、バス利用案内の配布やバス沿線案内ポスターの掲示、郷土博物館特別展ポスターの掲示やチラシ配布を行いました。</p> <p>○PR強化として、池上線開業90周年イベントにて、たまちゃんバス車両の展示や子供用制服の貸出しを東急バスと協力して実施しました。</p> <p>○ホームページを検索しやすいように改善しました。</p> <p>○バスへの関心を高めるため、ツイッターを開始しました。</p> <p>＜サービス水準の改善＞</p> <p>○作業部会を開催し、ルート変更の可能性について検討を行うとともに、変更案について作業部会員との協議を行いました。</p> <p>＜事業採算性の向上＞</p> <p>○車内広告契約（2件）を行いました。</p> <p>＜その他＞</p> <p>○矢口地区自治会連合会が主催する「二十一世紀桜まつり」にて、車両展示や子供用制服の貸出し、スタンプラリー、ポスター掲示、利用案内配布、運行事業者による専用回数券・東急バス1日乗車券の現地販売を行う予定でしたが、雨天中止のため、実施できませんでした。</p>	4	
<p>決算額</p>	<p>10,321,637円</p>	
<p>次年度以降の主な取り組み</p>		
<p>○地元自治会や作業部会、関係機関と連携し、多様な利用促進活動に取り組んでいきます。</p> <p>○サービス水準の向上に向け、ルート変更の可能性について検討を進めていきます。</p>		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-2 快適な交通ネットワークをつくります

計画事業名	自転車駐車場の整備						
主な取組内容	自転車等駐車場を整備し、緊急車両や歩行者などの通行の妨げになっている放置自転車をなくし、安全で安心な魅力あるまちづくりを推進します。						
(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30	
8駅の自転車等利用実態調査を基に駐車場の検討、推進	→						
自転車等駐車場の整備検討	→						継続
(仮称)大森北一丁目開発による自転車等駐車場設置		→					
京浜急行連続立体交差事業高架下自転車駐車場設置		→					継続

所管部局	都市基盤整備部	
平成 24 年度の取組み内容	進捗状況	
<p>【自転車等駐車場の整備検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○久が原駅前自転車駐車場を供用開始しました（収容台数 135 台）。 ○鶉の木駅前交番横自転車駐車場増設工事を行いました（42 台増設）。 ○御嶽山駅前第一自転車駐車場の整備を行いました（収容台数 65 台）。 ○蒲田駅西口環八下自転車駐車場の機械化を行いました（2,026 台分）。 	4	
<p>【京浜急行連続立体交差事業高架下自転車駐車場設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○連続立体交差事業等の進捗にあわせて継続的に検討しました。 ○平成 25 年 3 月「大田区自転車利用総合基本計画に基づく整備計画」を策定しました。その中で、京急連続立体事業に関わる駅については、京急高架下の自転車駐車場も含めた整備方針をとりまとめました。 	4	
決算額	12,955,538 円	
次年度以降の主な取組み		
<ul style="list-style-type: none"> ○御嶽山駅前第二自転車駐車場を整備します。 ○大岡山駅前地下自転車駐車場を増設します。 ○連続立体交差事業等の進捗にあわせて継続的に検討していきます。 		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-2 快適な交通ネットワークをつくります

計画事業名	京浜急行線連続立体交差事業関連街路の整備						
主な取組内容	京浜急行線の連続立体交差化に伴い、ゆとりある歩行者空間を持つ駅前広場やアクセス*道路等を整備し、京浜急行沿線の魅力あふれるまちづくりを推進します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
用地取得		→					
アクセス道路等の整備		→					完了 (26年度)
京急蒲田駅東口駅前広場の整備						→	完了 (26年度)

所管部局	連続立体事業本部	
平成 24 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【アクセス道路等の整備】</p> <p>○街路整備について、下水道工事（放射第 19 号交通広場・区画街路第 2 号線）が完了しました。また、電線共同溝整備（本線付属街路第 1 号線）が完了しました。</p> <p>○街路設計について、電線共同溝・街路整備及び交差点詳細設計委託（本線付属街路第 2 号線、区画街路第 3 号線）、街路整備実施設計（大田歩行者専用道路第 1 号線、本線付属街路第 1 号線、区画街路第 2 号線、第 328 号線）が完了しました。</p>	4	
決算額	1,421,447,387 円	
次年度以降の主な取り組み		
<p>○街路整備について、電線共同溝整備（本線付属街路第 2 号線、区画街路第 2 号線、区画街路第 3 号線）、街路整備（本線付属街路第 1 号線、第 328 号線）、弾正橋架替（本線付属街路第 328 号）、歩行者専用道整備（大田歩行者専用道路第 1 号線）を行います。</p> <p>○街路設計について、電線共同溝、街路整備及び交差点詳細設計（本線付属街路第 2 号線、区画街路第 3 号線）道路整備詳細設計（本線付属街路第 4 号線・第 5 号線、区画街路第 2 号線）を行います。</p>		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-3 潤いとやすらぎのあるまちをつくります

計画事業名	公園の整備						
主な取組内容	地域環境の改善を図り、防災面での安全性を高め、区民の余暇活動や健康増進に寄与するために、都市に潤いをもたらす公園緑地の整備、拡張を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
田園調布せせらぎ公園	用地取得・整備						継続
東糀谷防災公園	整備						
東蒲田公園	整備						
佐伯山緑地	用地取得・整備						完了
馬込自然林緑地	用地取得・整備						
一般公園	用地取得・整備						検証

所管部局	都市基盤整備部	
平成 24 年度の取り組み内容	進捗状況	
【田園調布せせらぎ公園－用地取得・整備】 ○造成工事（第二水源上部）を実施しました。	4	
【佐伯山緑地－用地取得・整備】 ○造成工事（第 4 期）の設計委託を実施しました。 ○造成工事（第 3 期）を実施しました。	4	
【一般公園－用地取得・整備】 ○高畑第三児童公園、南馬込一丁目南児童公園、蘇峰公園、（仮称）南雪谷五丁目公園、新井宿第一児童公園の設計委託を実施しました。 ○蘇峰公園は平成 25 年度工事予定でしたが、1 年前倒して整備工事を開始しました。	4	
決算額	832,922,761 円	
次年度以降の主な取り組み		
<p>○田園調布せせらぎ公園については、造成工事(散策路)及び、造成工事設計委託(擁壁、倉庫撤去)を行います。</p> <p>○佐伯山緑地については、造成工事（第 4 期）を行います。</p> <p>○4 公園（高畑第三児童公園、南馬込一丁目南児童公園、（仮称）南雪谷五丁目公園、新井宿第一児童公園）の整備を行います。</p> <p>○蘇峰公園については、平成 24 年度から繰越明許し、平成 25 年 5 月まで工事を行います。</p>		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-3 潤いとやすらぎのあるまちをつくります

計画事業名	魅力ある公園のリニューアル						
主な取組内容	安全で使いやすい公園とするために、バリアフリー*化を進めます。また、幅広い世代が交流できる場として、高齢者向けの健康遊具*の設置や遊具・設備を更新するとともに、防災機能の向上も図りながら公園をリニューアルします。このほか、魅力ある豊かな自然環境を確保するため、公園緑地の整備や桜の樹木更新などを進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
大規模公園のバリアフリー化		→ (8箇所/5年)					継続
健康遊具設置		→ (1箇所/年)					
遊具改修		→ (8箇所/年)					検証
桜の保全・更新		→					検証

所管部局	都市基盤管理部	
平成 24 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【大規模公園のバリアフリー化】</p> <p>○萩中公園（第 4 期）、洗足池公園（第 3 期）、本門寺公園（第 2 期）、池上梅園（第 2 期）、蘇峰公園の設計委託を実施しました。</p> <p>○萩中公園（第 4 期）、洗足池公園（第 2 期）、平和の森公園（第 3 期）、本門寺公園（第 1 期）、池上梅園（第 1 期）の整備工事を実施しました。</p> <p>○蘇峰公園のバリアフリー化整備工事を、公園増設工事と合併し、1 年前倒して開始しました。</p>	4	
<p>【健康遊具設置】</p> <p>○萩中公園に健康遊具を設置しました（事業完了）。</p>	4	
<p>【遊具改修】</p> <p>○邦西第二児童公園、中央二丁目児童公園、東調布公園、南蒲公園、新蒲田公園、萩中公園、本門寺公園の遊具改修を行いました。</p> <p>○旧呑川緑地の老朽化した遊具を撤去し、複合遊具を設置しました。</p>	4	

<p>【桜の保全・更新】 ○洗足池公園で桜の更新工事を行い、桜を4本植樹しました。</p>	<p>4</p>
<p>決算額</p>	<p>278,829,600 円</p>
<p>次年度以降の主な取り組み</p>	
<p>○大規模公園のバリアフリー化について、3公園（洗足池公園（第3期）、本門寺公園（第2期）、池上梅園（第2期））の整備工事を行います。</p> <p>○案内板設置工事として2公園（萩中公園（第5期）、平和の森公園（第4期））の整備工事を行います。</p> <p>○蘇峰公園のバリアフリー化整備工事を、公園増設工事と合併し繰越明許で平成25年5月まで行います。</p> <p>○大森北青空児童公園等6公園で遊具改修を行います。</p>	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-3 潤いとやすらぎのあるまちをつくります

計画事業名	呑川緑道の整備						
主な取組内容	呑川の側道に街路樹を植樹するほか、護岸の壁面緑化*を行います。また、路面温度上昇を抑制するため、遮熱性舗装*などで散策路を整備します。 このほか、沿川の歴史と環境を活かした観光スポットとしての観点からサイン計画を策定し、散策路にサインを設置していきます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
橋詰部等用地取得		→					
緑道整備		(1,200m/5年) →					検証
サイン整備		→					検証

所管部局	都市基盤整備部	
平成 24 年度の取り組み内容	進捗状況	
【橋詰部等用地取得】 ○用地取得に関する検討を行いました。適地がなかったため、用地取得を行いませんでした。 ○呑川沿道の民間開発の際には、緑道幅員の確保等の指導、協力要請を行いました。	4	
【緑道整備】 ○東雪谷五丁目 32 番先（延長 150m）の設計を行いました。 ○南雪谷五丁目 17 番先（延長 205m）の整備工事を行いました。	4	
【サイン整備】 ○関係機関協議等の調整を行いました。	4	
決算額	22,470,000 円	
次年度以降の主な取り組み	○東雪谷五丁目 36～37 番先（延長 160m）の緑道整備を行います。	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-3 潤いとやすらぎのあるまちをつくります

計画事業名	桜のプロムナード*の整備						
主な取組内容	水と緑のネットワークの充実を図るため、洗足流れ・馬込桜並木・内川に至る道路を散策路として整備するとともに、サイン整備を進めていきます。また、馬込桜並木の桜再生(枯損木植替え)を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
散策路整備		→ (800m/5年)					検証
桜の保全・更新		→					検証
サイン整備			→				検証

所管部局	都市基盤整備部	
平成 24 年度の取り組み内容	進捗状況	
【散策路整備】 ○西馬込一丁目 4 番～18 番先（延長 140m）の設計を行いました。 ○南馬込四丁目 20 番～六丁目 21 番先（延長 130m）、大森西二丁目 21 番先（延長 180m）の整備工事を行いました。	4	
【桜の保全・更新】 ○職員の技術レベル向上のため、樹木の適正な維持管理方法に関する研修を実施しました。	4	
【サイン整備】 ○関係機関協議等の調整を行いました。	4	
決算額	86,328,900 円	
次年度以降の取り組み		
○南馬込五丁目 44 番から六丁目 1 番先の道路を桜のプロムナードとして整備するために、修正設計委託を実施します（延長 220m）。 ○西馬込一丁目 4 番から 18 番先（立正学園前）の整備を行います（整備延長 140m）。 ○南馬込四丁目 37 番から中央五丁目 1 番先に位置する馬込桜並木については、施設の老朽化に伴い歩道や植樹柵のリニューアル整備を図ります。さらに、今回の整備にあわせて、道路のバリアフリー化を図ります（整備延長 170m）。		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市
 個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します
 施策 2-1-4 安全で安心して暮らせるまちをつくります

計画事業名	鉄道駅舎のバリアフリー*化の推進						
主な取組内容	区内鉄道駅舎のバリアフリー化のためエレベーターが必要な駅舎への設置支援を推進します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
エレベーター設置支援		支援		検討			継続

所管部局	まちづくり推進部	
平成 24 年度の取組み内容	進捗状況	
【エレベーター設置支援】 ○現在バリアフリー化工事中の西馬込駅について、進捗状況等について事業者ヒアリングを行いました。 ○バリアフリー化困難駅（モノレール天空橋駅）について、事業者へ今後のバリアフリー化の方向性等のヒアリングを行いました。	4	
決算額	0円	
次年度以降の主な取組み	○現在バリアフリー化工事中（西馬込駅）及び未整備（モノレール天空橋駅他）の駅について、事業者と情報交換等を行っていきます。 ○引き続き、駅舎のバリアフリー化の状況把握を行い、状況に応じて事業者ヒアリング等を行っていきます。 ○ホームドア等の整備促進について、事業者の取組み状況を踏まえながら、今後必要な対応について検討していきます。	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-4 安全で安心して暮らせるまちをつくります

計画事業名		自転車等利用総合対策						
主な取組内容		地球環境にやさしい自転車の利用などについて、区民や鉄道事業者など関係機関と連携・強化を図り、駅周辺の放置自転車や利用者に対する交通ルールの遵守、交通マナーの向上などの対策を協議し、安全で安心なまちづくりを推進します。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
自転車等利用総合基本計画	協議会開催、検討		→					
	検討、策定			→				
事業推進スケジュール検討・調整					→			継続

所管部局	都市基盤整備部	
平成 24 年度の取り組み内容		進捗状況
【事業推進スケジュール検討・調整】 ○大田区自転車等利用総合基本計画に基づく整備計画を策定しました。		4
決算額	14,303,503 円	
次年度以降の主な取り組み		
○自転車走行環境を整備していきます。 ○自転車等駐車場の利用料金などを内容とする条例・規則の見直し検討を行います。		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市^{まち}

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-4 安全で安心して暮らせるまちをつくります

計画事業名	だれでもトイレの整備						
主な取組内容	道路や公園などにある公共トイレ(公衆便所や公園便所の一部)の改築や新設にあわせて、誰もが使いやすい「だれでもトイレ」の整備を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
だれでもトイレの整備	改築	→ 13箇所完了					継続
	新設	→					継続

所管部局	都市基盤整備部	
平成 24 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【だれでもトイレの整備－改築・新設】</p> <p>○予定どおり、平成 24 年度の工事はありませんでした。</p> <p>○下記のとおり整備計画の見直しを行いました。</p> <p>①「おおた未来プラン10年」の当初計画は、改築・新築をあわせて年間4か所のだれでもトイレ整備を行う計画でしたが、社会情勢の変化に鑑み、年間2か所の整備に見直しました。</p> <p>②当初計画は、大規模公園のバリアフリー化による改築・新築が未定だったため、全ての大規模公園のトイレを改築計画に加えました。</p> <p>③当初計画は、道路上の公衆便所および公園内の旧公衆便所のみだったため、公園内の全ての大型トイレを改築計画に加えました。</p>	4	
決算額	0円	
次年度以降の主な取り組み	<p>○邦西児童公園便所を改築します。</p> <p>○高畑第三児童公園にだれでもトイレを新設します。</p>	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市
 個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します
 施策 2-1-4 安全で安心して暮らせるまちをつくります

計画事業名	* 橋梁の耐震性の向上						
主な取組内容	区が管理する橋梁の中で、緊急道路障害物除去路線*や鉄道を跨ぐ橋梁など防災上重要な橋梁は、計画的に架替・耐震補強整備を進め、災害に強いまちづくりを推進します(今後整備する優先対策橋梁51橋)。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
架替・耐震補強整備		→ 優先対策橋梁のうち19橋完了					継続

所管部局	都市基盤整備部	
平成 24 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【架替・耐震補強整備】</p> <p>○当初、4 橋の設計、4 橋の工事を予定していましたが、橋梁の設計基準（道路橋示方書）の改定が行われたため、設計済未施工橋梁 4 橋も含め、新基準に基づき設計の見直しを行いました。</p> <p>○耐震補強設計 2 橋（東原橋、八橋）は、年度内に完了が難しくなったため、今年度予算の繰越を行いました。</p> <p>○耐震補強設計 2 橋（美富士橋、稲荷橋）を実施しました。</p> <p>○耐震補強設計 7 橋（山王道跨線人道橋、外川田跨線人道橋、宮前跨線人道橋、西三跨線人道橋、第二中谷跨線人道橋、新根方橋、富士見橋）について、新基準に沿った設計に修正を行いました。</p> <p>○耐震補強工事 3 橋（山王道跨線人道橋、外川田跨線人道橋、宮前跨線人道橋）については、橋梁の耐震基準の見直しに伴い設計の修正が必要になったため、工事を延期しました。</p> <p>○耐震補強工事 1 橋（道々女木橋）については、下部工の管理者である東京都が新しい耐震基準に沿った設計に見直すため、緊急性を伴う工事のみ行いました。</p>	<p>—</p> <p>※当初予定と当初予定どおりに完了する時期の対比については次ページ参照</p>	
決算額	625,425,336 円	
次年度以降の主な取り組み		
<p>○2 橋（新馬込橋、仲之橋）の架替工事を行います。</p> <p>○平成 24 年度から繰越した 2 橋（東原橋、八橋）の耐震補強設計を行います。</p> <p>○6 橋（天神橋、清水橋、清水橋添架人道橋、宝来橋添架人道橋、北糺谷橋、東橋）の落橋防止装置及び補修調査設計を行います。</p> <p>○1 橋（本村橋）の修正設計を行います。</p> <p>○4 橋（山王道跨線人道橋、外川田跨線人道橋、宮前跨線人道橋、清水窪歩道橋）の耐震補強工事を実施します。</p>		

※91 ページ「橋梁の耐震性の向上」における当初予定と当初予定どおりに完了する時期の対比について

耐震補強設計予定 4 橋

	東原橋	八橋	美富士橋	稻荷橋
24 年度当初予定	設計完了	設計完了	設計完了	設計完了
24 年度末結果	設計途中	設計途中	設計完了	設計完了
設計完了見込み時期	平成 25 年 7 月 完了	平成 25 年 7 月 完了	予定どおり完了	

耐震補強工事予定 4 橋

	山王道跨線人道橋	外川田跨線人道橋	宮前跨線人道橋	道々女木橋
24 年度当初予定	工事完了	工事完了	工事完了	工事完了
24 年度末結果	工事延期 (設計修正)	工事延期 (設計修正)	工事延期 (設計修正)	工事延期 (一部完了)
工事完了見込み時期※	平成 27 年度 完了予定	平成 27 年度 完了予定	平成 27 年度 完了予定	平成 27 年度 完了予定

※工事完了見込み時期について

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災を受けて、平成 24 年 2 月に橋・高架の道路等の技術基準（道路橋示方書）が改定された。これにより、工事を延期し、大幅な修正設計を行う必要が生じたため、完了見込みが平成 27 年度となった。

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市
個別目標 2-2 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります
施策 2-2-1 世界へ羽ばたくまちをつくります

計画事業名	にぎわいのある文化交流拠点の整備						
主な取組内容	国内外の多様な文化圏の相互交流を通じてにぎわいを創出する施設を整備します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
羽田空港跡地まちづくり推進計画に基づいた事業化の検討、実施		→					継続
関係機関との連絡調整		→					継続

計画事業名	世界へ発信する産業支援拠点の整備						
主な取組内容	基盤技術*の集積を誇る製造業などの区内産業の新市場開拓などに寄与する施設を整備します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
羽田空港跡地まちづくり推進計画に基づいた事業化の検討、実施		→					継続
関係機関との連絡調整		→					継続

計画事業名	水と緑のふれあいゾーンの整備						
主な取組内容	市街地に隣接した親水及び緑地空間を創出して、環境との共生をめざし、潤いややすらぎのスペースを整備します。あわせて、地域の防災機能の強化を図る空間としての活用を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
羽田空港跡地まちづくり推進計画に基づいた事業化の検討、実施		→					継続
関係機関との連絡調整		→					継続

所管部局	まちづくり推進部	
平成 24 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【羽田空港跡地まちづくり推進計画に基づいた事業化の検討、実施】</p> <p>○産業交流施設計画作業部会を開催（5回）し、空港跡地第1ゾーンに整備予定である産業交流施設の機能について検討しました。</p> <p>○ものづくりの国際競争力向上と、地域の活性化をねらう産業交流施設の整備を位置付けた「国際戦略総合特別区域計画※」が、平成24年7月に国の認定を受けました。※「アジアヘッドクォーター特区」の事業計画</p> <p>○交通量調査を実施し、基盤施設の整備について検討を進めました。</p>	4	

<p>【関係機関との連絡調整】</p> <p>○産業交流施設の機能について、国や東京都等との関係機関協議を進めました。</p> <p>○産業交流施設用地の売り払いについては、国際戦略総合特区制度に基づく国との協議において、随意契約による売り払いが可能であるとの見解が示されました。</p>	4
---	---

決算額	5,880,000 円	
-----	-------------	--

次年度以降の主な取り組み

<p>○「羽田空港跡地まちづくり推進計画」に基づく、空港跡地第1ゾーンのまちづくりの早期実現を目指し、継続して国や東京都等関係機関との協議、調整を行いながら検討を進めます。</p> <p>○計画の実現にあたっては、「国際戦略総合特区」や「企業立地促進基本計画」を活かしながら検討を進めます。</p>

* 「にぎわいのある文化交流拠点の整備」「世界へ発信する産業支援拠点の整備」「水と緑のふれあいゾーンの整備」は一体的に取り組んだため、取り組み内容等が同一の内容となっています。

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 2-2 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

施策 2-2-2 未来につながる臨海地域をつくります

計画事業名	海上公園の移管整備						
主な取組内容	臨海部にある公園のあり方や整備内容について検討を行うとともに、東京都港湾局所管海上公園の移管や再整備を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
臨海部公園整備計画の検討		→					
港湾局移管公園の整備			→				継続

所管部局	都市基盤整備部	
平成 24 年度の取り組み内容		進捗状況
<p>【港湾局移管公園の整備】</p> <p>○昭和島南緑道公園については、平成 24 年 4 月 1 日付で区立公園として供用を開始しました。</p> <p>○大森緑道公園については、東京都の改修工事が平成 24 年 10 月末に完了し、平成 25 年 4 月 1 日の移管に向けた事務処理を行いました。</p>		4
決算額	0 円	
次年度以降の取り組み	<p>○海上公園の移管については、対象公園 4 か所の内、2 か所が移管を完了する予定です。今後は、残りの 2 か所（昭和島北緑道公園、京浜島緑道公園）に関して、移管に向けた事務処理と設計調整などを引き続き進めていきます。</p>	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 2-2 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

施策 2-2-2 未来につながる臨海地域をつくります

計画事業名	海辺の散策路整備						
主な取組内容	海老取川から平和島運河周辺、さらに京浜運河周辺など、臨海部の埋立地を結ぶ緑のネットワークの形成を図るため、水とみどりの拠点整備や散策路整備の検討を行い、関係機関と協力しながら整備を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
臨海部における散策路のあり方検討		→					
散策路計画及び整備手法の検討				→			散策路・拠点整備 検討

所管部局	都市基盤整備部	
平成 24 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【散策路計画及び整備手法の検討】</p> <p>○庁内調整や東京都との調整会議を定期的を開催し、臨海部の埋立地を結ぶ緑のネットワークの形成に向けた拠点整備や散策路の整備手法について検討しました。</p> <p>○大森南（延長 380m）の散策路整備を行いました。</p>	4	
決算額	56,105,500 円	
次年度以降の主な取り組み		
<p>○臨海部の埋立地を結ぶ緑のネットワークの形成に向けた拠点整備や散策路の検討を引続き進めていきます。</p> <p>○大森南（延長 600m）の散策路整備工事完成をめざします。</p>		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 2-2 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

施策 2-2-2 未来につながる臨海地域をつくります

計画事業名	空港臨海部将来構想の検討						
主な取組内容	臨海部の将来構想を策定し、構想に基づいた土地利用の誘導を図ります。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
空港臨海部将来構想の検討、策定		→					
空港臨海部将来構想に基づいた土地利用の誘導			→				継続

計画事業名	交通ネットワークの検討						
主な取組内容	臨海部の交通ネットワークについて、観光側面も考慮しながら、道路網、公共交通機関、舟運を含めた新たな交通システムの検討を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
空港臨海部将来構想の検討、策定		→					
空港臨海部将来構想に基づいた交通ネットワークの検討			→				継続

所管部局	まちづくり推進部	
平成 24 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【空港臨海部将来構想に基づいた土地利用の誘導】</p> <p>○空港臨海部まちづくり・交通ネットワーク等基礎調査を実施し、空港臨海部における産業団体等（7 団体）と行ったヒアリングを踏まえて現状を整理・分析し、ものづくり産業の維持・発展とものづくり、物流、環境の各産業が共存するための、空港臨海部の活性化に向けた土地利用の誘導の方向性を検討しました。</p>	4	

<p>【空港臨海部将来構想に基づいた交通ネットワークの検討】</p> <p>○空港臨海部まちづくり・交通ネットワーク等基礎調査を実施し、羽田空港国際化、京浜3港の連携など新たな社会情勢に対応するとともに、賑わいのまちづくりの観点からも交通ネットワークの方向性を検討しました。</p> <p>○災害時における水上輸送ネットワークとして大田区災害時水上輸送計画（案）を検討するとともに、同調査では、平常時における水上輸送ネットワークの可能性を検討しました。</p>	4
---	---

決算額	8,599,500 円*	
-----	--------------	--

次年度以降の主な取り組み
<p>○今年度の調査結果を基に、産業団体等と意見交換を図り、土地利用の誘導の方向性について検討を深めていきます。</p> <p>○羽田空港国際化や京浜3港連携の進捗、周辺道路の整備といった周辺環境の変化を踏まえて、地域内の交通ネットワークの拡充の可能性を検討していきます。</p>

*「空港臨海部将来構想の検討」「交通ネットワークの検討」は一体的に取り組んだため、決算額は統合されています。

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-1 ものづくり産業を育み、世界に発信します

計画事業名	工場の立地・操業環境の整備					
主な取組内容	区内工場の立地・操業環境の向上のため、産業支援施設(賃貸工場、創業支援施設 [*] など)の整備・運営を行い、事業の拡張や高度化のために行う事業に対しては、経費の一部を助成します。また、区が工業用地を取得し、その活用の展開を図ります。					
(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
産業支援施設指定管理者*による運営・支援	→					継続
ものづくり工場立地助成	→				検証	継続
工業用地再開発支援(用地取得、活用検討)	→					
民間型工場アパートの整備・活用		整備支援	→	活用	→	継続

所管部局	産業経済部	
平成 24 年度の取り組み内容	進捗状況	
【産業支援施設指定管理者による運営・支援】 ○産業支援施設の指定管理者による順調な運営を行いました。 ○産業支援施設指定管理者による工場アパート（4 施設）、創業支援施設（1 施設）、産業連携支援施設（2 施設）のモニタリング評価を行い、総合所見でA及びB評価を判定しました。 ○評価結果は、工場アパートはA評価が 3 施設、B評価が 1 施設、創業支援施設はA評価、産業連携支援施設は全てB評価でした。	4	
【ものづくり工場立地助成】 ○ものづくり工場立地助成は、継続 10 社（2 年度目 6 件、3 年度目 4 件）に加え、新規に 14 社の企業に助成を実施しました。 ○設備投資助成を新規に活用した企業は、13 社でした。	4	

<p>【民間型工場アパートの整備・活用】</p> <p>○平成 24 年 6 月、東糀谷六丁目工場アパートを開設しました。区が民間から借り上げて管理する集合型工場であり、区内における工業の立地・操業環境の整備を推進し、高付加価値を生み出すものづくり産業集積の維持・発展、さらには高い技能・技術力の承継を図る施設です（敷地面積 4,257.68 m²、延床面積 8,488.65 m²）。</p> <p>○ものづくり工場立地助成事業を活用し、企業誘致に取り組んだ結果、33 ユニット中、28 ユニットの入居を決定しました。</p>	<p>4</p>	
<p>決算額</p>	<p>526,416,827 円</p>	
<p>次年度以降の主な取り組み</p>		
<p>○東糀谷六丁目工場アパートについては、引き続き入居企業の安定した操業確保を図り、ものづくり産業の維持集積・発展に努めるとともに、雇用創出や地域活性化に寄与する施設として展開します。</p> <p>○また、中堅企業や研究開発型企业を中心に区外企業への誘致活動を積極的に取り組んでいきます。そのためのパンフレットも作成します。</p>		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-1 ものづくり産業を育み、世界に発信します

計画事業名	新製品・新技術開発の支援						
主な取組内容	新規市場開拓等に向けて企業や企業グループが、新製品・新技術を開発する際に、企画・設計から試作・開発までに要する経費の一部を助成します。 大田区中小企業が開発した、優れた新製品や新技術を表彰することで技術力・開発力の向上意欲を醸成するとともに、大田区中小企業の技術力を広く内外にアピールします。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
補助金交付		→					検証
コンクール表彰		→					検証

所管部局	産業経済部	
平成 24 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【補助金交付】</p> <p>○開発スタート助成（上限 200 万円：応募 2 件中 1 件採択）、開発ステップアップ助成（上限 1000 万円枠：応募 5 件中 3 件採択、上限 500 万円枠：応募 18 件中 9 件採択）、実用化製品化助成（上限 1000 万円枠：応募 5 件中 2 件採択、上限 500 万円枠：応募 7 件中 2 件採択、上限 100 万円枠：応募 4 件中 1 件採択）を行いました。助成金交付件数は累計 18 件であり、助成確定額は 80,780,000 円となりました。</p>	4	
<p>【コンクール表彰】</p> <p>○25 社から 26 件の応募があり、うち 9 社（9 件）が受賞しました。 ○受賞企業の内訳は、「最優秀賞」1 件、「優秀賞」2 件、「奨励賞」3 件に加え、「おおた福祉・医療賞」、「おおた秀逸技能賞」、「テク乃ちゃんイチ押し賞」が各 1 件でした。 ○昨年に引き続き、おおた工業フェア初日に行う表彰式当日には、同フェアの展示会場内特設ステージにおいて、受賞企業によるプレゼンテーションを実施し、来場者へ広く技術 PR を行いました。</p>	4	
決算額	84,208,764 円	
次年度以降の取り組み	<p>○補助金交付について、「開発コラボ助成」を新たにスタートします。これは、企業とインダストリアルデザイナーとをマッチングし、主に消費者に向けた“売れる製品開発”にプロジェクトで取り組む経費について助成する事業です。</p> <p>○新製品・新技術コンクール表彰について、募集を平成 25 年 7 月に行い、9 月から 10 月にかけて応募作品を審査し各賞を決定します。表彰式は、平成 26 年 2 月 13 日（第 18 回おおた工業フェア初日）に実施します。</p>	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-1 ものづくり産業を育み、世界に発信します

計画事業名	海外市場開拓支援						
主な取組内容	区内企業の優れた製品や技術を、アジアをはじめ世界に情報発信し、実際の取引拡大につながるような海外展開を支援します。諸外国・地域の政府機関、産業関連機関、企業団体との交流を積極的に進め、区内企業に対して情報提供等の支援策を実施します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
海外展開支援							検証
情報提供等の実施							検証

所管部局	産業経済部	
平成 24 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【海外展開支援】</p> <p>○タイのオオタ・テクノ・パーク（O T P）入居およびタイ市場進出に向けて準備を進める企業 20 社を引率して、現地において施設・政府機関や関連企業の紹介等（延べ6回）を実施しました。</p> <p>○O T Pは新規に 4 社の入居が決定して、第 3 期工場を建設し、本施設の利用可能スペースが満杯となりました。</p> <p>○中国市場開拓として、杭州、瀋陽、上海、香港及び台湾において、大田区企業（28 社）の展示会及び現地企業との商談会開催を支援しました。</p> <p>○海外見本市への出展支援（タイ・中国あわせて 6 展示会、区内企業 32 社（初出展 17 社））を実施しました。</p>	5	

<p>【情報提供等の実施】</p> <p>○海外取引相談（486件）、中国取引相談（344件）、外国語文書翻訳（73件）を行ったほか、中国市場勉強会（6回、参加数15社20人）、海外市場セミナー（6回）を開催しました。</p> <p>○中国（5回）・タイ（8回）の市場開拓、その他海外市場の市場開拓及び現地調査（9回）を実施しました。</p> <p>○諸外国との産業連携（国内、32回）を行いました。</p>	<p>5</p>	
<p>決算額</p>	<p>26,181,674 円</p>	
<p>次年度以降の主な取り組み</p>		
<p>○海外取引相談、海外取引セミナー、外国語文書翻訳、ITを活用した中国市場及び欧州市場の展開、タイのオオタ・テクノ・パークの活用、中国・タイ・ASEAN市場開拓を引き続き実施します。</p> <p>○新規事業として欧州市場開拓を行います。スイス・ヴォー州の経済開発局との連携を中心に現地企業と大田区企業との研究開発を中心にした産業交流を推進します。さらにドイツ・デュッセルドルフ地域の現地企業との連携も図り、欧州の産業情報を収集します。</p> <p>○海外見本市（タイ・メタレックス2013、日中モノづくり展示商談会@上海市2013、広州日系自動車部品展示会、台湾テクノマート見本市、ドイツ・COMPAMED2013）への出展を行い、大田区企業の海外市場開拓を支援します。</p>		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-1 ものづくり産業を育み、世界に発信します

計画事業名	次世代ものづくり人材の育成						
主な取組内容	小中学生を対象としたものづくり実践教室、産業のまちスクール、子ども起業家育成セミナーを実施し、ものづくりへの興味・関心を促す事業を行います。産業団体の実施する経営・技術指導講習会への補助をはじめ、若者と中小企業のマッチング、次世代経営者育成セミナーなどの人材育成事業を実施します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
講座・セミナーなどの開催							検証
講習会などへの補助							検証

所管部局	産業経済部	
平成 24 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【講座・セミナーなどの開催】</p> <p>○小中学生のものづくりへの興味・関心を促すため、ものづくり実践教室（参加者 240 人）、産業のまちスクール（参加者 50 人）等を開催しました。</p> <p>○人材育成のため、技術指導講習会（4 講座、参加者延べ 108 人）、次世代経営者育成セミナー（3 回、参加者延べ 38 人）を開催しました。</p> <p>○各講座等の参加者アンケート調査では、以下のとおり高評価を得ました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術指導講習会（「満足」「ほぼ満足」93%） ・新規人材育成セミナー（「満足」「ほぼ満足」94%） ・次世代経営者育成セミナー（「満足」「ほぼ満足」89%） ・産業のまちスクール（「満足」「ほぼ満足」100%） ・ものづくり実践教室（小学校 1～4 年生対象）（「満足」「ほぼ満足」95%） ・ものづくり実践教室（小学校 5・6 年生及び中学校 1・2 年生対象）（「満足」「ほぼ満足」97 %） 	4	

<p>【講習会などへの補助】</p> <p>○上記の講座・セミナーに加え、工業団体実地研修会（11 団体）、工業団体経営革新支援事業（7 団体が 16 回実施）等研修会、講習会への助成を行いました（計 36 件）。</p>	<p>4</p>
<p>決算額</p>	<p>21,647,702 円</p>
<p>次年度以降の主な取り組み</p>	
<p>○引き続きアンケート調査による評価を行い、満足度の高いセミナーを開催します。</p> <p>○参加人数やアンケート調査をとおして、どのような研修会や講習会に対してニーズがあるのか把握し、事業に活かします。</p>	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-2 くらしを支えるあきないを熱く盛り上げます

計画事業名	商店街景観整備事業						
主な取組内容	商店街関係者、地域住民、NPO*、コンサルタントなどにより協議会を組織し商店街の役割を見直し検討するとともに、歴史や文化に特徴を持つ商店街の景観整備を行い、にぎわいのあるまちづくりを進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
候補地A 協議会設立、実施計画検討・策定・実施		→					
候補地B 協議会設立、実施計画検討					→		検証

所管部局	産業経済部	
平成 24 年度の取り組み内容	進捗状況	
【候補地 A 協議会設立、実施計画検討・策定・実施】 ○ミハラ商店街へ竣工後の支援として、イベント事業を支援（2 回）したほか、ミハラ地区まちづくり協議会の定例会（月 1 回）、中小企業診断士派遣（15 回）を実施しました。 ○商店街来街者調査（1 回）について支援しました。	4	
【候補地 B 協議会設立、実施計画検討】 ○新たな候補地への支援として、景観整備事業実施に関する定期的な勉強会への参加（6 回）及び情報提供（6 回）、中小企業診断士派遣（2 回）を行いました。 ○先進事例への視察（佐原、成田山、ミハラ商店街、小樽）を行いました。	4	
決算額	612,000 円	
次年度以降の主な取り組み	○候補地 A については、平成 24 年度までに計画どおり事業は完了しましたが、よりいっそうの取組充実を図るため、引き続きイベント事業などを支援していきます。 ○候補地 B については、協議会設立に向けたスケジュールの検討を行います。	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市^{まち}
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-2 くらしを支えるあきないを熱く盛り上げます

計画事業名	ふれあい商店街事業						
主な取組内容	商店街内に新たなコミュニティ*空間、高齢者に優しいまちを創出するため、商店街会館及び空き店舗などを活用します。お休み処・トイレなどを整備し、来街者のために開放します。提供する商店街に対しては、運営費の一部を補助します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
実施商店街		2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	検証	継続

所管部局	産業経済部	
平成 24 年度の取り組み内容	進捗状況	
【実施商店街】 ○大森柳本通り商店街振興組合に、区内で7か所目となる「お休み処」を開設しました。 ○既に開設している長原商店街、雑色商店街、矢口渡商店会、日の出銀座商店街、梅屋敷東通り商店街について、運営費の一部を助成しました。	4	
決算額	9,413,000 円	
次年度以降の主な取り組み		
○各施設の点検や運営費の見直しを行うなど利便性について検討を行い、引き続き事業を継続していきます。		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市^{まろ}
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-2 くらしを支えるあきないを熱く盛り上げます

計画事業名	商店街イベント・機能向上の支援						
主な取組内容	商店街が自ら企画し実施するイベントや商店街の機能向上のための事業に対して、必要な経費の一部を助成します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
商店街への助成事業実施		→					検証

所管部局	産業経済部	
平成 24 年度の取り組み内容	進捗状況	
【商店街への助成事業実施】 ○商店街が実施し、地域住民が参加でき販売促進の効果が期待できるイベント事業に助成を実施（180 事業、77 商店街）しました。 ○商店街が実施する商店街の環境整備で集客効果が期待できる活性化事業に助成を実施（11 事業、11 商店街）しました。	4	
決算額	165,587,100 円	
次年度以降の主な取り組み	○引き続き助成事業を行い、必要に応じて中小企業診断士等を派遣し、効果的なイベントや商店街の機能向上を図ります。	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-2 くらしを支えるあきないを熱く盛り上げます

計画事業名	おおた商い観光展の開催						
主な取組内容	広く区内外の事業者等に呼びかけ、各地域の銘品・逸品(食品・工芸品など)の展示・販売を行うとともに、区内の観光情報の発信や逸品認定発表を行い、「大田区の観光資源」を全国に向けて発信する「おおた商い観光展」を開催します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
おおた商い観光展の開催		→					検証

所管部局	産業経済部	
平成 24 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【おおた商い観光展の開催】</p> <p>○区の観光資源を全国に発信する「おおた商い観光展（来場者 11,007 人、出展者 125 商店・企業・団体、129 小間）」を開催しました。</p> <p>○区内の商店・企業・団体を中心に「商い・観光・匠」といった大田区の魅力を来場者に紹介し、おおたの逸品認定表彰式、OTA!いちおしグルメ表彰式、第2回観光シンポジウムなどを併催しました。</p> <p>○昨年度に引き続き、東日本大震災復興支援として、宮城県東松島市、宮城県石巻市、岩手県、福島県、福島県南相馬市、茨城県から7社・団体が出展しました。</p>	5	
決算額	10,435,921 円	
次年度以降の主な取り組み	<p>○引き続き、銘品・逸品・観光スポットなど大田区の魅力を来場者に再発見していただく展示会をめざし、開催します。</p> <p>○展示会後の出展者の売上増加を図る工夫を行い、区内商業・観光業の持続的な発展をめざします。</p>	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-2 くらしを支えるあきないを熱く盛り上げます

計画事業名	サービス業実態調査とマッチング支援						
主な取組内容	情報サービス、物流サービス、専門サービス(コンサルティング、財務、法務)などビジネスを支援するサービス産業や、区民の生活を応援する生活関連サービスに関する調査を実施し、その活動状況や課題を把握します。その上で、製造業や商業の顧客獲得や生産性の向上、区民生活の利便性の向上に貢献するサービス産業の支援を検討します。また、ビジネス支援・生活関連サービス分野のNPOや社会起業家の活動の把握・支援を検討します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
実態調査の実施、支援策の検討		→					
ビジネス支援サービス・生活関連サービス業の支援の実施				→			検証
NPO・社会起業家の活動状況の支援の実施				→			検証

所管部局	産業経済部	
平成 24 年度の取組み内容	進捗状況	
<p>【ビジネス支援サービス・生活関連サービス業の支援の実施】</p> <p>○平成 23 年度以降の課題としていた、情報提供や支援策の強化に向けた取組みを進めました。</p> <p>○区報（4 回）で、区の融資制度を広く周知しました。</p> <p>○商業版の産業情報誌「あきnow」を発行（9,000 部）し、区内の各商店、飲食店等の各店舗に配布しました。</p> <p>○あきない・サービス系産業団体等経営革新支援事業として、講習会等（22 回）に助成しました。</p>	4	

<p>【NPO・社会起業家の活動状況の支援の実施】</p> <p>○経営改善や新規事業・販路開拓等に取り組む企業等に、専門知識を有する人材を派遣し、問題解決をサポートするビジネスサポートサービスの内容を、(公財)大田区産業振興協会ホームページに掲載したところ、支援協力者登録数は96人(前年度比1人減)で、派遣回数は333回となりました。</p> <p>○ビジネスプランコンテストを行ったところ、応募件数は33件で、受賞したのは8件でした(受賞者:最優秀賞1件、優秀賞1件、奨励賞1件、後援先特別賞5件、表彰式来場者127人)。</p> <p>○創業相談に対応しました(相談件数42件)。</p>	<p>4</p>	
<p>決算額</p>	<p>8,469,438 円</p>	
<p>次年度以降の主な取り組み</p>		
<p>○引き続き、各種の情報提供を行うほか、産業振興協会のビジネスサポートサービスや繁盛店創出事業などの他の事業とともに適切なサービスを展開することで、支援のいっそうの充実を図ります。</p> <p>○ビジネスサポートサービスについては、企業の相談内容に応じて、随時、登録支援協力者の中から適任者を選定し派遣します。</p> <p>○ビジネスプランコンテストについては、応募テーマを拡充して平成25年7月から募集を開始し、9月以降に審査、11月に結果を通知します。表彰式は平成26年1月24日に行います。</p>		



基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-3 大田区の観光を世界に発信します

計画事業名	にぎわいを生み出すスポットづくり						
主な取組内容	観光推進団体と連携しながら、区内の面白スポットなどを発掘し、新たな観光コースとして紹介することで、観光資源として活かしていきます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
スポットの発掘・整理		→					検証
新たな観光コースづくり		→					検証
観光コースのPR		→					検証

所管部局	産業経済部	
平成 24 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【スポットの発掘・整理】</p> <p>○区内の名所をテーマごとに巡る大田再発見ツアーとして、「おおたの桜スタンプラリー（参加者 222 人）」、「おおたの桜ウォーク（6 回、参加者延べ 114 人）」、「TOKYO CONOE FESTIVAL in OTA（参加者 315 人）」、「のりのり Beach Festa（3 日間、参加者 850 人）」、「地元ガイドとめぐる池上七福神ツアー（参加者 42 人）」を実施しました。</p> <p>○大田区の見所を写真撮影しながら散策する「てくてくふおと散歩」として、羽田沖クルージング&写真撮影ツアー（参加者 41 人）、多摩川下流自然めぐり（参加者 10 人）を実施しました。</p> <p>○大田区の観光スポットを紹介するガイドを養成するため、ガイド養成講座（11 回、修了者 24 人）を実施しました。</p>	4	
<p>【新たな観光コースづくり】</p> <p>○「品川・大田地域観光まちづくり推進協議会」にて、品川（品川浦、大井競馬場、しながわ水族館）と大田（羽田空港天空橋船着場、大森ふるさと浜辺公園）を結ぶクルージングイベント「船で行こう OTA ふれあいフェスタ（2 日間、乗船者数延べ約 1,500 人）」、「船で行こう七福神と旧東海道（2 回、乗船者数 316 人）」を実施しました。また、それに伴い品川・大田を結ぶルートマップ（10,000 部）を作成しました。さらに、船を活用した新たな観光コースづくりをし、多数の参加がありました。</p>	4	
	（次ページに続く）	

<p>(前ページからの続き)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○蒲田エリアを PR するガイドパンフレット「蒲田ガイド」(日英韓中(簡・繁)合計 27,000 部)を作成しました。 ○大田区全域版「大田区ガイド」(日英韓中(簡・繁)合計 27,000 部)を作成しました。 ○「大田の観光(夏)」(30,000 部)、「大田の観光(秋)(冬)(春)」(各 20,000 部)、「大田ヒストリア(万両塚異聞・賢女三代記)」(5,000 部)、「オオタ・100 年、タマチ・50 年～栄光の軌跡!!～」(5,000 部)、ボランティアガイドの活動を紹介する「まち歩き News1 号・2 号・4 号」(各 10,000 部)、「まち歩き News3 号」(18,000 部)、「まち歩き News5 号」(5,000 部)など新規のパンフレットを発行しました。まち歩き News には、ボランティアガイドによる新たな区内の観光コースを紹介するツアーが掲載され、多数の参加がありました。 ○海外向け観光情報媒体「Wattention」(東京 50,000 部、シンガポール・ロサンゼルス・台湾各 30,000 部)に大田区特集記事を掲載しました。また、羽田空港国際線ターミナル観光情報コーナーでの配布や訪日旅行者向けの PR ツールとして、抜刷り版(10,000 部)を作成しました。 		
<p>【観光コースの PR】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東京都庁観光情報コーナー・PR コーナー展示、おおた商い観光展等に出展し、パネル展示やマップ、パンフレット配布等を行いました。 ○品川・大田地域観光まちづくり推進協議会において、「ふるさと祭り東京 2013」に出展しました。 ○観光庁・日本政府観光局主催の「トラベルマート(海外事業者向け商談会)」に参加し、海外旅行会社をはじめ観光関係事業者に大田区の観光を PR しました。 	4	
<p>決算額</p>	<p>1,446,000 円</p>	
<p>次年度以降の主な取り組み</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ○映画の発祥の地である蒲田を中心に、映像や映画を活用したまちおこし事業を行います。 ○ボランティアガイド団体や区民活動団体等との連携を促進し、地域の特色を活かした旅行商品の開発を支援します。 ○大田区の魅力を総合的に紹介する多言語パンフレットを作成します。 		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-3 大田区の観光を世界に発信します

計画事業名	ものづくりのまち体験ツアーの実施						
主な取組内容	観光推進団体と連携し、区内の工場の協力を得て、観光客がものづくりを体験できる環境を整備し、「ものづくりのまち体験ツアー」を開催します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
事業化に向けた検討							
体験ツアーの実施							検証

所管部局	産業経済部	
平成 24 年度の取組み内容	進捗状況	
【体験ツアーの実施】 ○昨年度に引き続き、工場公開イベント「オープンファクトリー」を実施（参加者 1,500 人、参加企業 26 社）しました。 ○おおた商い観光展・大田工業フェアで、ものづくり観光についてのパネル展示を行いました。	4	
決算額	4,750,000 円	
次年度以降の主な取組み		
○オープンファクトリー等既存のイベントの実施だけでなく、町工場を含めた産業を観光事業として継続的に展開していく仕掛けづくりを図ります。		

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-3 大田区の観光を世界に発信します

計画事業名	シティセールス*の実施						
主な取組内容	羽田空港の国際化に対応するため、空港乗り入れ都市(海外を含む)などに対し、多言語で大田区の観光資源を情報発信していきます。また、区内の観光情報をPRするため、積極的にメディア展開をしていきます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
区内情報のPR	→					検証	

所管部局	産業経済部	
平成 24 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【区内情報の PR】</p> <p>○蒲田を舞台としたNHK連続ドラマ「梅ちゃん先生」を活用し、地域と一体となったシティセールスとして展示会(5回)、シンポジウム(1回)、ウォーキング他イベント(3回)を展開しました。これらのイベントと地域の商店街等が実施した関連イベントをあわせて約10万人の方々に参加いただきました。</p> <p>○インバウンド誘致を目的とした「トラベルマート」(海外事業者向け商談会)に参画(1回)しました。</p> <p>○観光情報媒体として、「大田区ガイド」、「Wattention」を発行しました。配布は、海外90,000部(シンガポール・台湾・ロサンゼルス等の旅行会社・ホテル・飲食店等)と国内50,000部(空港、大使館関連施設等)行いました。</p> <p>○おおた商い観光展において、第2回観光シンポジウムを開催しました。</p> <p>○大田区観光大使を任命し、区内の名所見学やイベントへの参加をとおして知りえた大田区の魅力、大使の出身国等へ向けて発信してもらいました。この情報発信により、実際に大使の出身国から大田区への誘客に成功しました。</p> <p>○日本への玄関口である羽田空港国際線ターミナルに、観光情報コーナーを設置し、国内外の空港利用者へ向けて大田区の観光パンフレットを配架し、あわせて商店会等の名産品(レプリカ)や町工場で作成したもの等を展示することで、大田の観光・大田の産業のシティセールスを行いました(来場者数約37,000人、パンフレット約17,000部配布)。さらに、区内のボランティアガイドが空港観光の拠点(区内ガイダンス等)として活用を図りました。</p> <p style="text-align: right;">(次ページに続く)</p>	4	

(前ページからの続き)	
<p>○大田観光協会が取り組むシティセールスとして、パンフレット等の観光情報媒体の発行・ホームページの管理運営、いきいき写真コンクール、フェスタ等への出展の事業を支援しました。特に、大田観光協会ホームページへは、約 620 万件のアクセス（平成 23 年度は約 447 万件）がありました。</p> <p>○「梅ちゃん先生」やこれまでのシティセールスの効果もあり、新聞や雑誌、TV 等で大田区観光情報が取り上げられることが多くなっています。また、SNS 等のネットにおいても大田区情報が発信されることが多くなっている傾向があります。</p>	
決算額	52,154,254 円
次年度以降の主な取り組み	
<p>○「梅ちゃん先生」をはじめ、これまで大田区を舞台又はロケ地として放送されたドラマ・映画は多数あります。また、蒲田には以前、松竹撮影所がありました。これらの経緯等を踏まえ、映画祭の開催や発信ツールの整備などを進めます。それに加えて、引き続き、区の魅力発信に資する撮影ロケへの支援を柔軟に行います。</p> <p>○大田区の観光を総合的に発信する多言語パンフレットを作成し、海外事業者向け説明会や観光事業者との商談の際に使用します。</p> <p>○インバウンド誘致を目的として、広域連携による観光庁の地方連携事業に参画し、海外の旅行会社やマスメディアを招請するほか、現地の観光旅行博に出展します。</p> <p>○MICE*関係者が多数参加する国内唯一のコンベンショントレード・ショーである「IME (International Meetings Expo)」に出展して、コンベンション等の誘致を推進します。</p>	

※ MICE (Meeting: 企業ミーティング、Incentive: 報奨旅行、Conference: 学術会議など、Exhibition / Event: 展示会・イベント、の頭文字をとった造語)